

第94回春のすぎなみ区民歩こう会ワンポイント・ガイド

多摩川と浅川から引かれている用水路。多摩丘陵の台地からはあちこちで湧水が湧きだしています。田園風景が一変し、区画整理で近代都市に生まれ変わろうとしている多摩丘陵。今でも家々の庭先を流れ、人々に潤いを与えてくれている用水や湧水の清流の水音を聞きながら、豊田から日野の町を歩きます。

この地域は、甲州道中「日野宿」として400年の歴史を持ち、また、幕末の新選組と共に激動の時代を生き抜いた人々の歴史が今も生きています。

豊田用水

豊田用水は浅川左岸の平山橋付近から取水し、段丘下低地を地形に沿うよう豊田から東豊田へと流れる約3kmの主要な農業用水路。

豊田用水には途中、黒川水路や崖線の湧水も多く流れ込むが、一番有名なのは中央図書館下の湧水。東京の名湧水にも指定されている。湧水上には八幡神社がある。豊田用水は、古くからの流を留め歴史を感じさせ、生垣や庭との繋がりなど景観的にも配慮された場所も多い。



最近では、もっと水路に関心を持って貰うようにと憩いの場を整備している。東豊田公園もその一つである。

中央図書館下湧水

この湧水は、平成15年「東京の名湧水57選」に選ばれ、毎秒17リットルの豊富な水を湧出する。その名の通り、崖の上には日野市中央図書館が建っている。近年老朽化した土留め杭交換の工事を行った。木曽石や小石を配置し、セキショウの植栽等、水生生物の棲みやすい環境を再現している。

黒川水路（合流点）

日野台地における湧水群の横綱。東京都の名水にも指定されており水量も豊富。周辺は黒川清流公園として整備されている。保存緑地になっているので自然がいっぱい残されている。湧水が、涼しい影を落とす林の中に黒川水路となって流れ出ている。途中で豊田用水に合流する。黒川水路は日野で最も古い自然の水路であり、周辺には古代の人々の遺物が多数発見されている。

向島用水親水路

浅川ふれあい橋付近から取水されている向島用水沿いには、以前の姿を留める水車もある親水路となっている。水辺の自然に触れあえる散策路も整備されている。



高幡不動尊金剛寺

真言宗智山派別格本山。京都智積院を総本山とする関東屈指の古刹。日野七福神（弁財天）。関東三大不動尊（高幡、成田、玉嶺山總願寺）のひとつ。（玉嶺山總願寺-埼玉県加須市-に代え、雨降山大山寺-神奈川県伊勢原市-とする説もある）

隣接する山林を合わせて三万坪からなる敷地に、四国八十八か所めぐりや、四季を彩る自然の景観風情の中でアジサイまつりや紅葉まつりなどの催しが行われる。

また、境内には多くの重要文化財を始め、新選組土方歳三の菩提寺であることから、土方歳三と近藤勇を称えた「殉節両雄の碑」新選組関係の品々が数多く収められている。



日野宿本陣

日野宿本陣は都内で唯一残る江戸時代に建てられた本陣建物。本陣とは、江戸時代に宿場で大名や旗本、幕府役人、勅使などの宿泊所として指定された家。(11 ページ参照)

日野用水

日野用水は水田を灌漑する、日野では唯一多摩川から取水している用水。1567年美濃から移り住んだ佐藤隼人が八王子城主北条氏照に願い出て開削。用水は途中上堰と下堰に別れ、再び一緒になり多摩川へ排出される。この水は農業用水、生活用水として利用し、用水沿いには広大な水田が広がり、「八丁田んぼ」と呼ばれた。また、水車もあり、上堰沿いに7ヶ所、下堰沿いに1ヶ所精米や製粉に利用されている。区画整理事業などで水の流れが変わった所もあるが、用水開削からおよそ450年、水は流れ町の風景を作り、人々の心を潤し、生き物を育てている。

東光寺・薬師堂

平安時代今の七ツ塚古墳のあるあたりに城を築いていた日奉宗忠(ひまつり むねただ)が、居館に災いが起きないように東北の方角に、鬼門よけのお寺を建てたことから東光寺と名付けられた。成就院境内にある薬師堂は「安産薬師」とも呼ばれ古くから信仰されている。



東光寺

よそう森公園

昭和三十年代まで、現在の都道169号線沿いに小高い丘と杉林があり、そこには稲荷さまが祭られていた。地域の人々はその祠の前でその年の米の収穫高を予想したところから、この小高い丘と杉林を「よそう森」と呼んでいた。そこは、日野駅に向かう休憩場にもなっていたが、都道拡幅の際、杉木立は伐採され祠は移動された。また、日野駅周辺はかつては「多摩の米蔵」と呼ばれたほど、田んぼが一面に広がっていた。そのための用水路は江戸時代以前から掘られ、「よそう森堀」もそのひとつ。水田と用水が組み込まれた公園には用水が流れ、その水を使用する田んぼも一緒になっている。

多摩の新鮮味覚

この地の新鮮味覚は多種多彩

- ・ブルーベリー：目に良い成分が含まれていることから、健康食品として人気が高い。生食はもちろんジャムにも美味。
- ・梨：多摩川梨として親しまれてきた梨。「幸水」から始まり、東京でしか買えない「稲城」。東京生まれで大型梨の代表「新高」などの品種。
- ・ブドウ：「高尾」は巨峰を改良し、昭和50年に品種登録し誕生した品種。大型・種なしで、やや細長い形が特徴である。
- ・りんご：「陽光」「富士」と人気種が実り、都内では珍しい観光農園もある。
- ・トマト：市民プールの前の通りはトマト街道。「日野ファーストトマト」5月温室トマト。甘くてジューシー。「桃太郎」7月露地もの出番。完熟したトマトの味は格別。



日野駅